



発行所
秋田県鷹巣町役場
編集発行人
総務課広報係
(1回発行部数 5,400)

三十六年を迎えて

町長成田喜八

めでたく元旦を迎えたが、町の業務から見れば年度の関係で年の半ばとも云い得る次第で、全く中途半端なる立地点からの感想となるわけで、自然とさうも物足らぬことになるところを遺憾とするが、年々は大豐作で当町にも多収穫され、表彰が過ぎてうれしいが、面くらった程で、全く豊年満作のおおらかな氣分で年を過したことは何よりのことであった。

次に合併後初めて法定の定員による新町議会が生に着かれたことは、町政上誠に心強いきわみである。しかも選良の識見の豊かなたがたが議席に就いていたことは、町政上誠に心強いきわみである。

また町民のご協力や推進で各種の予定計画は大体順調に進行して居り、予定外には県畜産試験場分場の開場やその他、町勢発展の基盤が一層拡大せられつつあることは、町民と共に同慶の至りである。

なおまた新商工会の発足も町発展の大きい要素であり、同会の今後の活躍に多大なる期待を持つのである。即ち商工会は町の内外に対する施策に町当局と表裏一体の立場に置かるる場合が多いからである。

さてまた良い良いづくしではないことは勿論で、先ず火災のひん發で物心両方に計り知れぬ損害を受けたし居ること。教育施設が町民のご期待に添うまい急速なる伸びが出来ないなど、長期にわたり車馬の通行が不能になることなど遺憾の点も少なくない。

そこで年度末には当局の行き届かなかつたことにについては十分是正し、またさらには良い面を重ねて改めて報告致したい心境であるが、町民にも御心を受け置かれたいことが出来る。

それは町の実力を一応ご考慮願いたいのである、自分から推測せば、町民は余りに他の温情溢力になれ過ぎて、何事も思いの通りに進まねば、直ちに不満と云う型が出るのでなかなかうか。町当局が町民より町政運営に税と云う形式で皆様のふところより直接任せられて居る額は約千萬円に過ぎないので、これは町の実力と見なしてよいかと思ふ。しかしてこの七千萬円も町会の決議により、町予算の支出先が決定せらるるのであることを申添えたい。

1961 あけましておめでとうございます

町長 成田 喜八
助役 萩原 秀三
収入役 長崎 文太郎
町議会議長 成田 稔

永長中小奈伸佐三藤成長沢田九河堀木成畠三畠出佐藤高桜武小佐成
岐井林坂良村藤澤島田岐田村島田部村田山沢山川々井田笠藤田
佐庄幸与一藤保太嚴茂敬源一之治彦誠喜末忠三山礼武豊三原辰
与一藤保太嚴茂敬源一之治彦誠喜末忠三山礼武豊三原辰
藏郎蔵雄郎正蔵助治治藏義助郎蔵孝八吉光吉吉一治愛作郎太一郎稔

